

豊橋市地球温暖化対策地域推進計画の関連施策の進捗状況について

第2次豊橋市地球温暖化対策地域推進計画改訂版における緩和策（概要版3，4ページ）及び適応策（概要版5，6ページ）の進捗状況について報告します。

緩和策

地球温暖化防止に向けた緩和策

▼ 取り組みの目標

基本目標	取り組みの目標	基準値A (2019年度実績)	参考値 (2020年度)	実績値B (2021年度)	目標値C (2030年度)	進捗状況※
I エネルギーを賢く使おう	エコファミリーの登録件数	16,604 件	17,531 件	18,513 件	29,800 件	A
	ZEHへの補助件数（累計）	45 件	95 件	143 件	840 件	A
II 新しいエネルギーを生み出そう	再生可能エネルギー施設の設置容量	243,153 kW	268,917 kW	278,979 kW	657,900 kW	A
	蓄電池、V2Hへの補助件数（累計）	800 件	981 件	1,188 件	4,400 件	A
	徳の国とよはし電力株式会社による電力供給量	-	1,795千kWh	28,722千kWh	56,100千kWh	A
III 地球にやさしい乗り物を使おう	市街化区域内の自転車利用者の割合	4.8 %	4.2 %	4.1 %	7.0%以上	C
	公共交通の1日当たり利用者数	82 千人	55 千人	63 千人	82千人以上	C
	次世代自動車登録台数（累計）	2017年度実績 55,340 台	2019年度実績 73,059 台	2020年度実績 79,811 台	135,400 台	A
IV 緑や資源を大切にしよう	農業生産基盤整備面積（累計）	145.9 ha	145.9 ha	156.4 ha	443 ha	B
	公共施設における緑のカーテン設置箇所数	130 箇所	119 箇所	125 箇所	140 箇所	C
	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	421 g	439 g	429 g	400 g	C
V 地球環境への理解を進めよう	環境学習で学んだ人数	24,542 人	3,852 人	27,841 人	26,500 人	A

※進捗状況の評価について

A（順調）… 単年度目標の達成率が8割以上のもの

B（やや遅れ）… 単年度目標の達成率が5割以上のもの

C（遅れ）… 単年度目標の達成率が5割未満のもの

▼ 計画の進捗状況

- 基本目標 I、II および V はおおむね順調に進捗しているが、基本目標 III および IV については遅れているものがある。
- 「公共交通の1日当たり利用者数」、「緑のカーテンの設置数」および「1人1日当たりの家庭系ごみ排出量」については新型コロナウイルス感染症の影響を受けていると思われる。
- 「環境学習で学んだ人数」は市民向けイベントの実施回数を増やしたため、順調に推移している。

▼ 今後の取り組み

- 市民及び事業者に対する再生可能エネルギーに関する情報発信及び導入支援の継続
- 市民に“エコな”移動に対する意識を醸成し、行動実践へ繋げる
- あらゆる世代に対応した環境学習の内容の検討とその展開

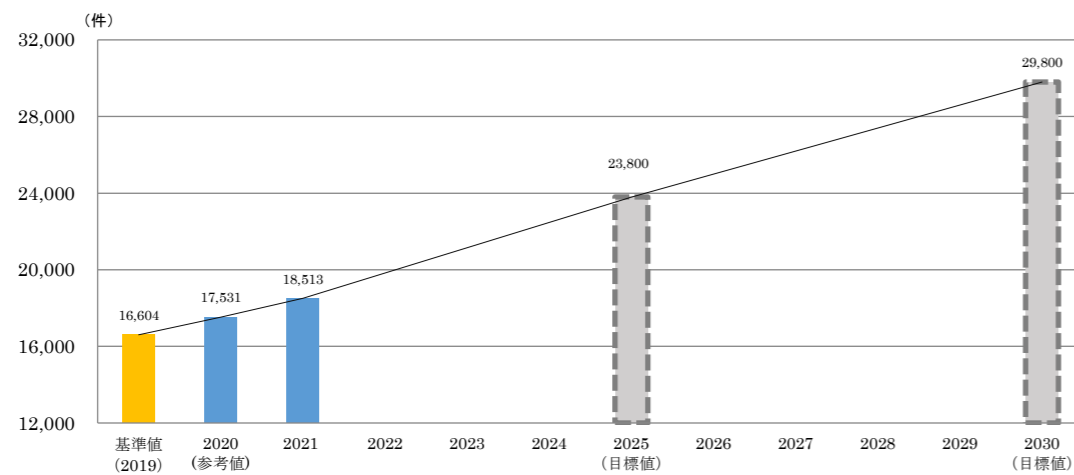
方針 I

エネルギーを賢く使おう

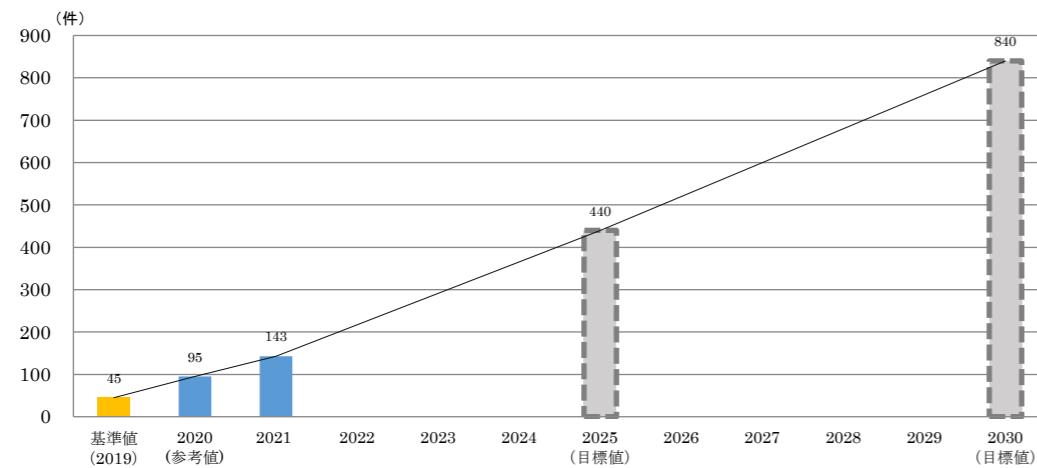
方針の推進に向けた施策	I-1. 節電・省エネを実践する
	I-2. 建物の省エネ化を進める

取り組みの目標	基準値 (2019)	2020 (参考値)	2021	2022	2023	2024	目標値 (2025)	目標値 (2030)	進捗状況
エコファミリーの登録件数（累計）[件]	16,604	17,531	18,513				23,800	29,800	A
ZEHへの補助金件数（累計）[件]	45	95	143				440	840	A

エコファミリーの登録件数（累計）



ZEHへの補助金件数（累計）



▼ 取組状況・今後の取り組み

I-1. 節電・省エネを実践する

【取り組みの目標の進捗状況】

「エコファミリーの登録件数」は、基準値と比較して、1,909件増加した。「530のまち環境フェスタ」をはじめとした各種イベントで登録を積極的に呼びかけたことが要因と考えられる。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・節電・省エネキャンペーンや地球温暖化対策に関するイベントを実施し、市民にライフスタイルの転換について働きかけ、省エネ意識の啓発を図った。
- ・事業者における温室効果ガス排出量の削減を目的として、中小企業向けの融資制度や農業者向けの補助制度により、事業者における設備の省エネ化を促した。
- ・豊橋サイエンスコアにて、カーボンニュートラルをテーマとした講演会を開催し、企業や大学関係者の意識向上を図った。

【今後の取り組み】

- ・節電・省エネにあまり関心のない市民に対するライフスタイルの転換の啓発方法について検討し、継続して普及啓発を実施する。
- ・事業者に対する省エネに関する情報の発信及び普及促進を実施する。

I-2. 建物の省エネ化を進める

【取り組みの目標の進捗状況】

「ZEHへの補助金件数（累計）」は、現計画より取り組み目標となった。進捗状況としては、基準値と比較して98件増加し、順調に推移している。今後も国の補助制度の動向を注視し、本市の補助制度についても継続して実施していく。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・住宅への創エネ、蓄エネ及び省エネ設備の導入に対して費用の一部を助成し、建物の省エネ化を図った。
- ・公共施設のLED化や省エネ型空調の導入を実施した。

【今後の取り組み】

- ・エネルギーの自立化に寄与する太陽光発電設備や蓄電池等を公共施設に導入する。

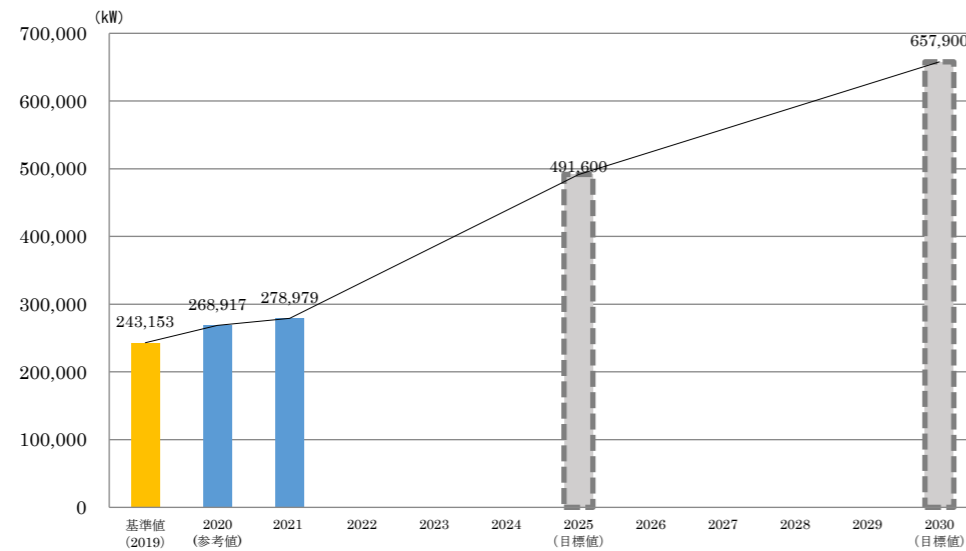
方針 II

新しいエネルギーを生み出そう

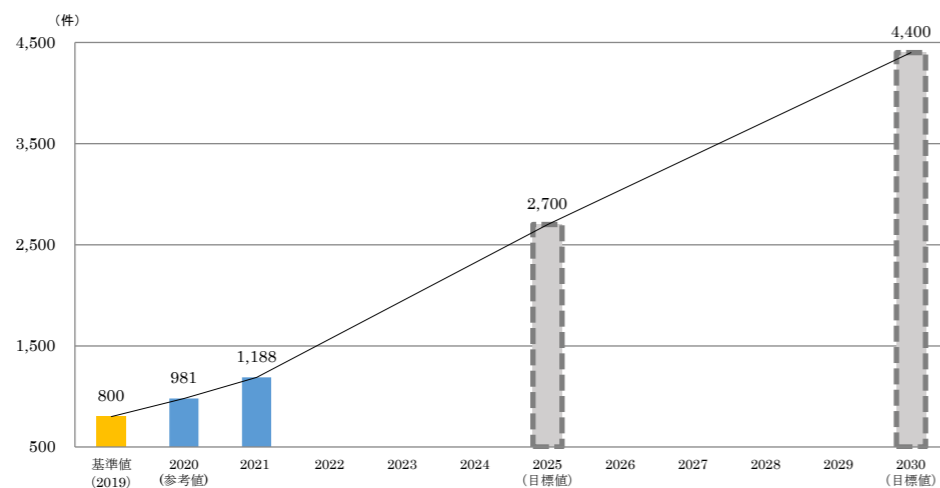
方針の推進に向けた施策	II-1. 再生可能エネルギーの導入拡大を進める
	II-2. 再生可能エネルギーの効率的・継続的な利用を進める
	II-3. 再生可能エネルギーの地産地消を進める

取り組みの目標	基準値 (2019)	2020 (参考値)	2021	2022	2023	2024	目標値 (2025)	目標値 (2030)	進捗状況
再生可能エネルギー施設の設置容量[kW]	243,153	268,917	278,979				491,600	657,900	A
蓄電池、V2H への補助金件数(累計)[件]	800	981	1,188				2,700	4,400	A
穂の国とよはし電力株式会社による電力の供給量[千kWh]	—	1,795	28,722				44,700	56,100	A

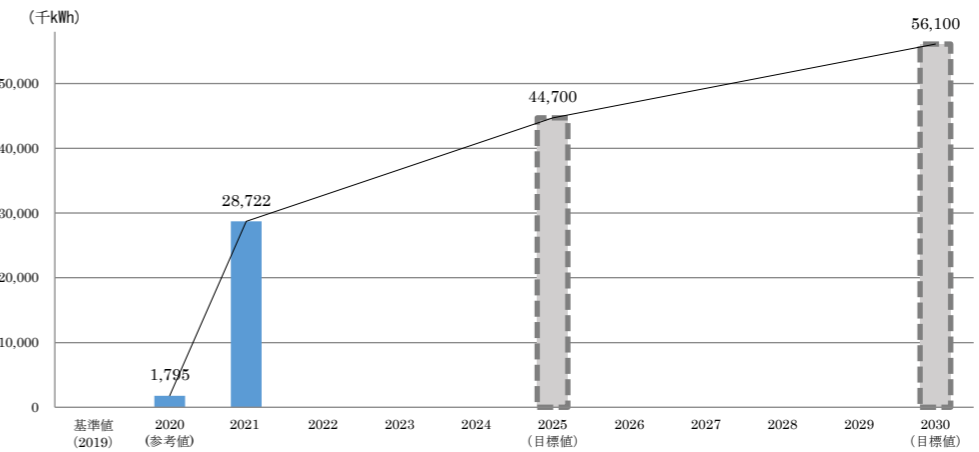
再生可能エネルギー施設の設置容量



蓄電池、V2H への補助金件数(累計)



穂の国とよはし電力株式会社による電力の供給量



▼ 取組状況・今後の取り組み

II-1. 再生可能エネルギーの導入拡大を進める

【取り組みの目標の進捗状況】

「再生可能エネルギー施設の設置容量」は、基準値と比較して 35,826kW 増加したが、目標に対しては鈍い伸びであった。固定価格買取制度 (FIT) による買取価格の低下により、コストメリットが出にくくなっていることが要因として考えられる。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・市民館における PPA 事業の公募を実施した。
- ・洋上風力発電など未利用エネルギーに関する情報を収集した。

【今後の取り組み】

- ・規模が大きな公共施設における PPA 事業の検証を行い、計画的に導入を進めていく。

II-2. 再生可能エネルギーの効率的・継続的な利用を進める

【取り組みの目標の進捗状況】

「蓄電池、V2H への補助金件数」は、基準値と比較して 388 件増加した。卒 FIT 電源の効率的な利用や災害時における電源確保のニーズが補助金の目的と一致したことが要因と考えられる。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・卒 FIT 電源の今後の支援の検討のために、市民に対してアンケート調査を実施した。

【今後の取り組み】

- ・卒 FIT 電源の効率的な利用のための支援や啓発活動を継続する。

II-3. 再生可能エネルギーの地産地消を進める

【取り組みの目標の進捗状況】

「穂の国とよはし電力株式会社による電力の供給量」は、基準値と比較して 28,722 千 kWh 増加した。再エネ電源を確保し、地産地消エネルギー指針に基づき公共施設へ供給することができた。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・2021 年 2 月に事業を開始した「穂の国とよはし電力株式会社」による公共施設への電力供給量を拡大した。
- ・エネルギーの地産地消に関する市民向けのイベントを 3 回実施し、理解を深めた。

【今後の取り組み】

- ・社会情勢を見極めながら、穂の国とよはし電力株式会社の事業をはじめ、民間のノウハウを活用したエネルギーの地産地消を推進する。

方針 III

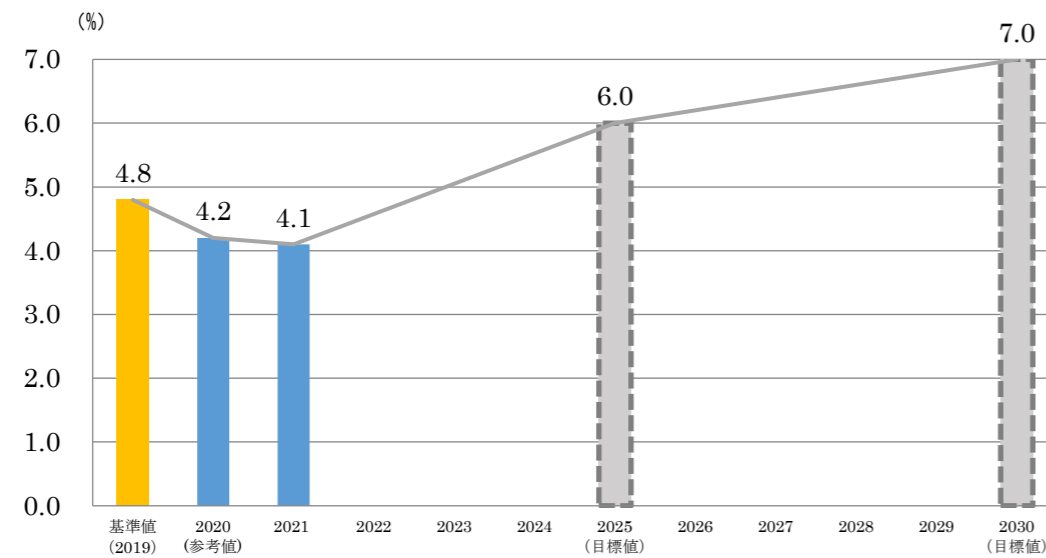
地球にやさしい乗り物を使おう

方針の推進に向けた施策

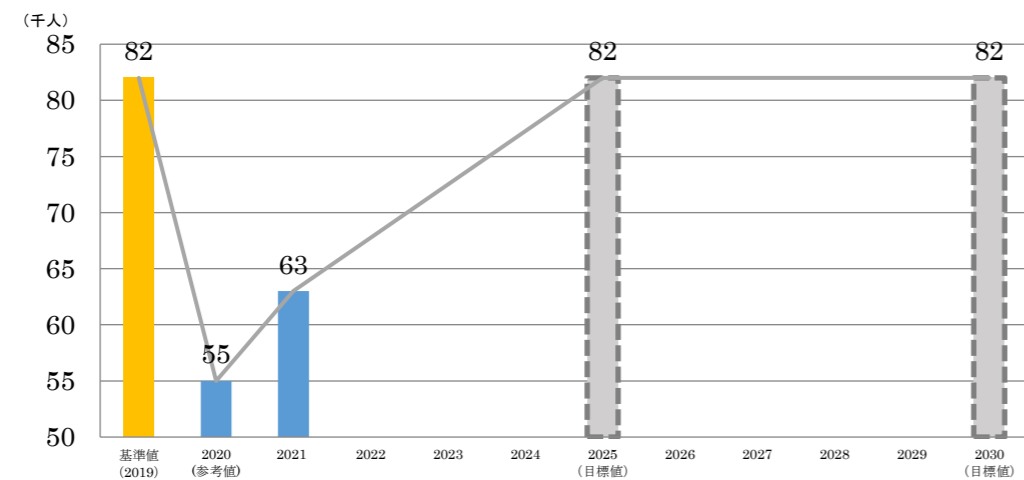
- III-1. 過度に自家用車に頼らないまちづくりを進める
- III-2. 自動車を賢く使うライフスタイルに転換する

取り組みの目標	基準値 (2019)	2020 (参考値)	2021	2022	2023	2024	目標値 (2025)	目標値 (2030)	進捗状況
市街化区域内の 自転車利用者の割合 [%]	4.8	4.2	4.1				6.0	7.0以上	C
公共交通の1日当たり利用者数 [千人]	82	55	63				82	82	C
次世代自動車登録台数 (累計) [台]	[2017年度] 55,340	[2019年度] 73,059	[2020年度] 79,811				99,700	135,400	A

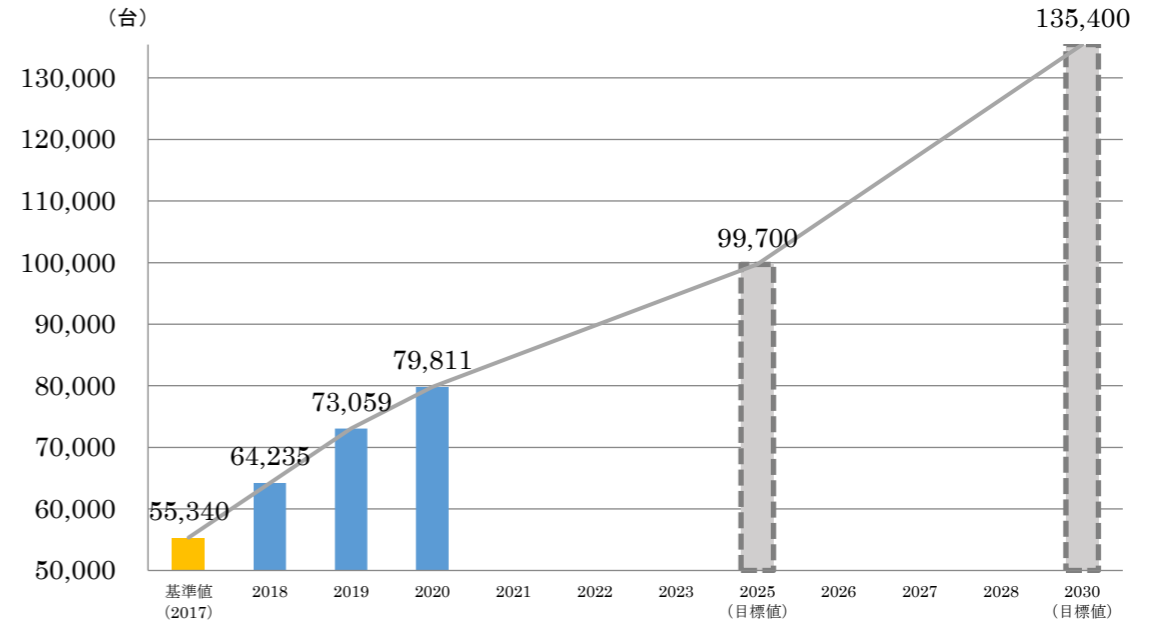
市街化区域内の自転車利用者の割合



公共交通の1日当たり利用者数



次世代自動車登録台数



▼ 取組状況・今後の取り組み

III-1. 過度に自家用車に頼らないまちづくりを進める

【取り組みの目標の進捗状況】

「市街化区域内の自転車利用者の割合」及び「公共交通の1日当たり利用者数」については、コロナ禍における不要不急の外出の自粛等の影響により減少したと考えられる。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・自転車交通空間や自転車歩行者道を設置し、自転車の利用環境を整えた。
- ・サイクリングマップを増刷して配布することにより、さらに多くの自転車の利用者にサイクルビットや自転車通行空間の周知を図った。
- ・交通事業者と協議して、サイクル&ライドの整備を実施し、周知を図った。

【今後の取り組み】

- ・新しい生活様式に対応した公共交通の利用促進の方法を検討し、市民・事業者の行動変容につなげていく。

III-2. 自動車を賢く使うライフスタイルに転換する

【取り組みの目標の進捗状況】

「次世代自動車登録台数」は、基準値と比較して、24,471台増加した。次世代自動車の性能の向上やより魅力的な車種の拡大により、市民や事業者の購入意欲が増加したことが要因と考えられる。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・市民及び事業者が購入する次世代自動車の費用の一部を助成し、普及促進を図った。
- ・市の公用車において、令和3年度にEVを3台導入した。

【今後の取り組み】

- ・公用車における次世代自動車の率先導入や市民及び事業者への購入補助を拡充する。
- ・車両の普及に伴う充電インフラ等の効果的な整備の促進を図る。

方針Ⅳ

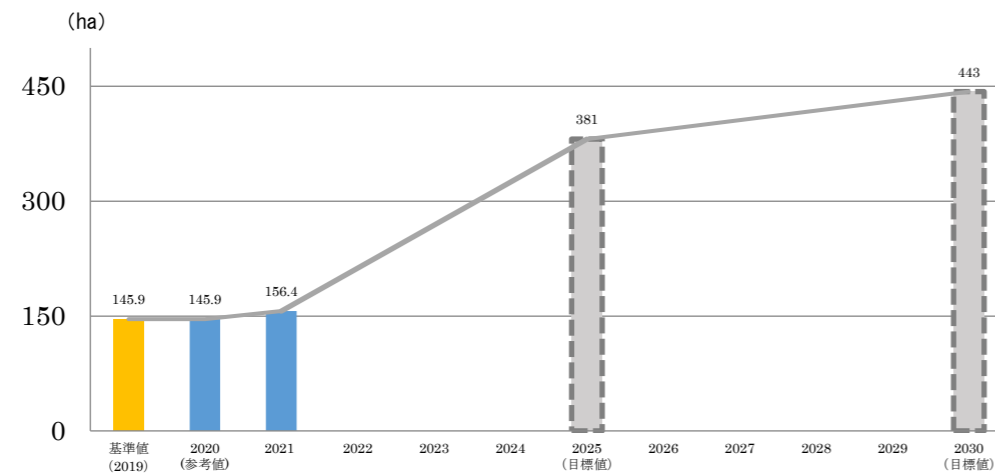
緑や資源を大切にしよう

方針の推進に向けた施策

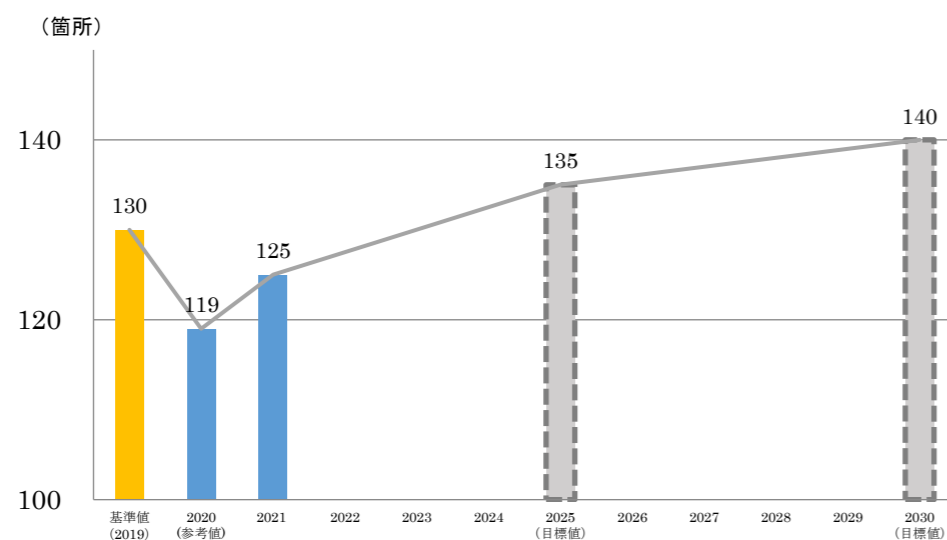
- IV-1. 森林や農地を保全し、都市の緑化を充実する
- IV-2. ごみ減量やリサイクルを進める

取り組みの目標	基準値 (2019)	2020 (参考値)	2021	2022	2023	2024	目標値 (2025)	目標値 (2030)	進捗状況
農業生産基盤整備面積 (累計) [ha]	145.9	154.9	156.4				381	443	B
公共施設における緑のカーテン 設置箇所数 [箇所]	130	119	125				135	140	C
1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量 [g]	421	439	429				406	400	C

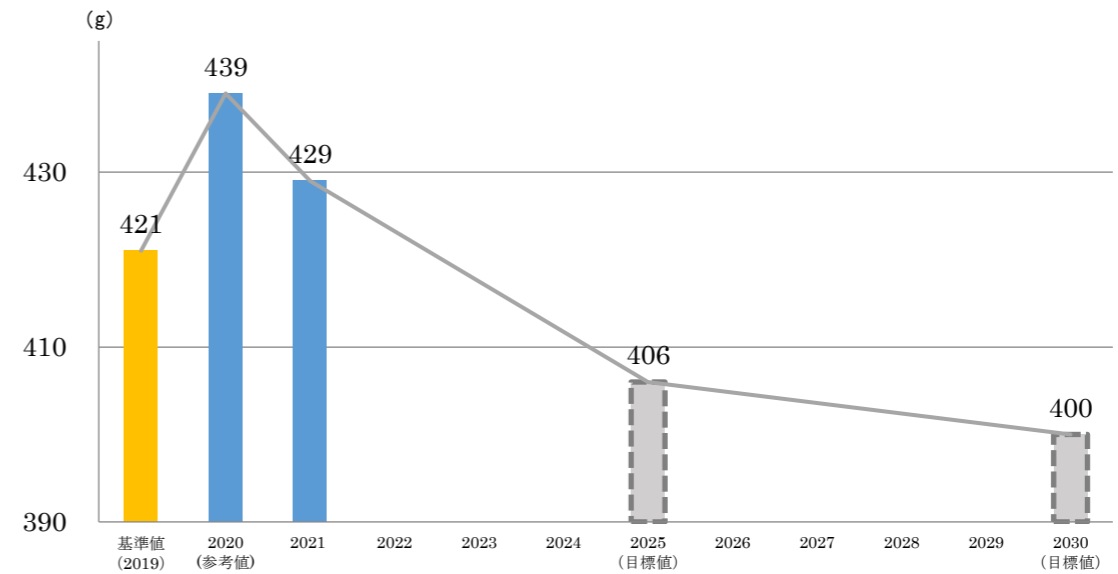
農業生産基盤整備面積



公共施設における緑のカーテン設置箇所数



1人1日当たりの家庭系ごみ排出量



▼ 取組状況・今後の取り組み

IV-1. 森林や農地を保全し、都市の緑化を充実する

【取り組みの目標の進捗状況】

「農業生産基盤整備面積」は、基準値と比較して10.5ha増加した。これは、三郷・東細谷地区におけるほ場整備事業が進んだことが要因である。

「公共施設における緑のカーテン設置箇所数」は、基準年度と比較して5箇所減少した。これは、コロナ禍により公共施設や市内の施設管理の在り方等に影響を及ぼしたことが要因としてあげられる。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・市民に対し緑のカーテンの効果を伝えるために、ホームページや広報FMとよはしを通じて普及啓発を実施した。
- ・市役所本庁舎西館の屋上にて、屋上緑化を実施した。

【今後の取り組み】

- ・公共施設における緑のカーテンの設置の促進を図る。

IV-2. ごみ減量やリサイクルを進める

【取り組みの目標の進捗状況】

「1人1日当たりの家庭系ごみ排出量」は基準年と比較して8g増加した。これはコロナ禍における新しい生活様式が影響していると考えられる。また、2020年度と比較すると2.3%減少しており、これは新型コロナウイルス感染症への対応の変化やSNSを活用した情報発信などの啓発に努めたことによってごみ減量に対する一人ひとりの意識の高まりが要因と考えられる。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・事業系食品ロスの実態を把握するため、市内事業者を対象としたアンケートやヒアリングを実施した。また、市民に対して全戸配布チラシで「てまえどり」などについて情報発信することで、食品ロス削減の啓発に努めた。
- ・ごみの排出者や処理業者などに対してセミナーなどの啓発を実施するとともに、立入による指導監督を行った。
- ・マイボトル・マイカップの利用を促すため、給水器設置補助金を創設し、使い捨てプラスチックの削減に取り組んだ。

【今後の取り組み】

- ・引き続き出前講座などによる食品ロス削減や分別促進のための啓発を進め、ごみ減量や環境に配慮した取組を推進していく。

方針 V

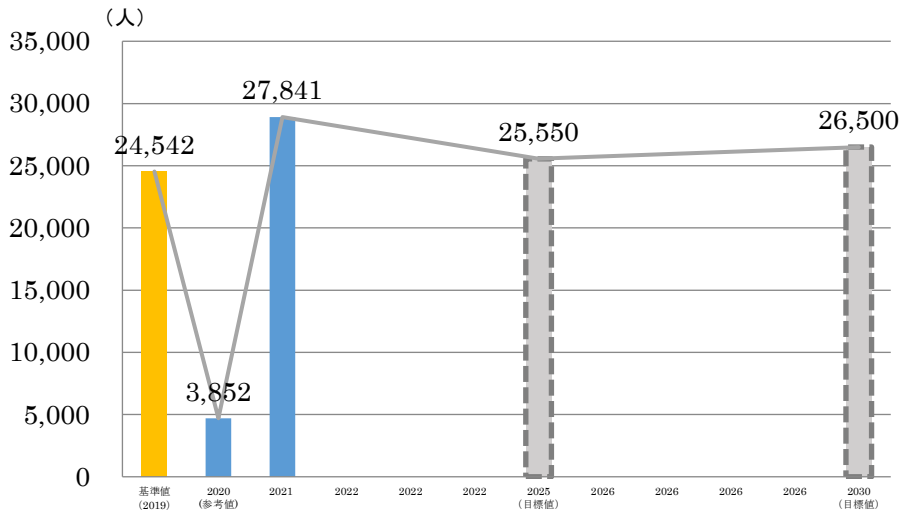
地球環境への理解を進めよう

方針の推進に向けた施策

V-1. 地球温暖化についての意識を高める

取り組みの目標	基準値 (2019)	2020 (参考値)	2021	2022	2023	2024	目標値 (2025)	目標値 (2030)	進捗状況
環境学習で学んだ人数※[人]	24,542	3,852	27,841				25,550	26,500	A

環境イベントの参加者数



※「環境学習で学んだ人数」とは、環境部が実施した出前講座やイベントの参加者数である。

▼取組状況・今後の取り組み

V-1. 地球温暖化についての意識を高める

【取り組みの目標の進捗状況】

「環境学習で学んだ人数」は、基準年度と比較して3,299人増加した。新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度に開催できなかった出前講座やイベントを開催できたことが要因である。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・豊橋総合動植物公園で「530のまち環境フェスタ」や普及啓発イベントを実施することで、より多くの市民に気軽に環境について学習する機会を提供した。
- ・広報誌やホームページなどによる情報提供に加えて、SNSや動画を活用することで、多様な媒体での情報発信を行った。

【今後の取り組み】

- ・SNSなどのツールの活用や事業者と協力することで情報発信を強化し、ライフスタイルの変換を促す。
- ・愛知県と連携を図ることで啓発の内容をより充実させる。

□気候変動の大きな要因と考えられている温室効果ガスの削減に向けた取り組みである緩和策に加えて、すでに起こりつつある気候変動の影響に対処し、被害を回避・軽減していく取り組みを「適応策」と言います。
市が実施している適応策の具体的な取組状況は以下の通りです。

分野Ⅰ. 農業、林業、水産業

- ・農業者に対して講習会等で農作業時における熱中症の注意喚起を実施した。

分野Ⅳ. 自然災害・沿岸域

【災害全般】

- ・ハザードマップや防災ガイドブックを作成、配布した。
- ・避難勧告等の情報を市民へ適切に伝達するためのマニュアルの整備及びそれに従った対応をした。

【洪水・内水】

- ・ため池に洪水調整機能を付加するため、浚渫工事を実施した。
- ・大雨や集中豪雨による水路の氾濫被害を防止するための河川の改修工事を実施した。

【高潮】

- ・海岸保全施設を整備し、砂浜が高潮等から浸食されるのを防止した。

【その他】

- ・災害廃棄物処理計画の整備と情報伝達訓練への参加及び災害時の他市町村との連携の手順の確認を実施した。

分野Ⅴ. 健康

【熱中症、死亡リスク】

- ・熱中症予防啓発チラシを約15,000枚配布した。
- ・小中学校における「校外学習マニュアル」や「安全管理上の引継ぎ事項」に熱中症対策に関する項目を設け、各学校ごとに対策を徹底した。
- ・「ほっとメール」を活用し、夏季に熱中症予防の情報提供を実施した。

分野Ⅵ. 産業・経済活動

- ・災害発生時における事業所の行動指針やサプライチェーンの強靭化を定める「事業継続計画（BCP）」または「事業継続力強化計画」の策定をする事業者へ支援を実施した。

- 今後も地球温暖化による気候変動がわたしたちの生活に与える影響について注視し、すべての分野において必要な取り組みを進める。
- 市民や事業者へも引き続き、気候変動への適応を促すため、普及啓発イベントを積極的に実施する。

▽ハザードマップ



▽海岸保全施設（傾斜堤）



▽海岸保全施設（離岸堤）

